

決算説明会 質疑応答(要旨)

(2021年度第2四半期)

Q1. 住友重機械イオンテクノロジー(株)(SMIT・半導体製造装置の製造販売)の業績は。

A1. 個別会社の数値は非開示ですが、昨今の半導体市況好調により、受注は当初計画よりも増加しております。売上は前年の受注残が減少したこともあり、ほぼ予定どおりです。

Q2. SMITのシェア拡大の方策は。

A2. SMITの好調はイメージセンサ向け需要の高まったことが要因です。当社はこの事業について新棟建設を決め、中電流装置の開発強化によるシェア拡大を狙います。新棟が完成すれば生産規模は2倍となる見込みですが、サプライチェーンの影響も注視する必要があります。

Q3. 鋼材をはじめとする調達および物流に関するコストの事業への影響は。

A3. 当初上期計画に対して、15億円程度のインパクトがありました。さらに、下期は主に船舶事業と油圧ショベル事業において85億円を見込み、年間を通して約100億円の影響を見込んでいます。なお、輸出に関連する物流コストも高騰しており、業績に織り込み済みです。

Q4. 部品調達の滞りは。

A4. 電子部品の確保が困難な状況です。また、建機業界全般においてエンジン回りの半導体の確保も困難な状況となっています。ある程度は織り込み済みですが、今後さらに悪化する場合があります。

Q5. サプライチェーンの悪化に伴い、生産拠点の見直しはあるか。

A5. 供給拠点を増やすことはあり得ますが、拠点自体の移転は考えていません。現状を基に最適解を導き、サプライチェーンの強化を目指します。

以上